

議案第35号

教育委員会の権限に属する事務の点検評価結果の概要について

令和3年9月29日提出

豊橋市教育委員会
教育長 山西 正 泰

令和3年度

**教育委員会の権限に属する
事務の点検評価結果の概要**

(令和2年度決算評価)

令和3年9月

豊橋市教育委員会

目 次

1	点検評価の概要	
	（1）点検評価の目的	1
	（2）点検評価の実施方法	1
2	行政評価のしくみ	1
3	総括	2
4	政策分析レポート	
	政策分析レポートとは	3
	2 健やかに暮らせるまちづくり	4
	3 心豊かな人を育てるまちづくり	5
	○細事業評価結果一覧	12
5	外部評価結果	19

1 点検評価の概要

(1) 点検評価の目的

平成 19 年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育事務の点検及び評価等に関する規定が追加され、平成 20 年 4 月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

点検・評価を通じて、効果的な教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検評価の実施方法

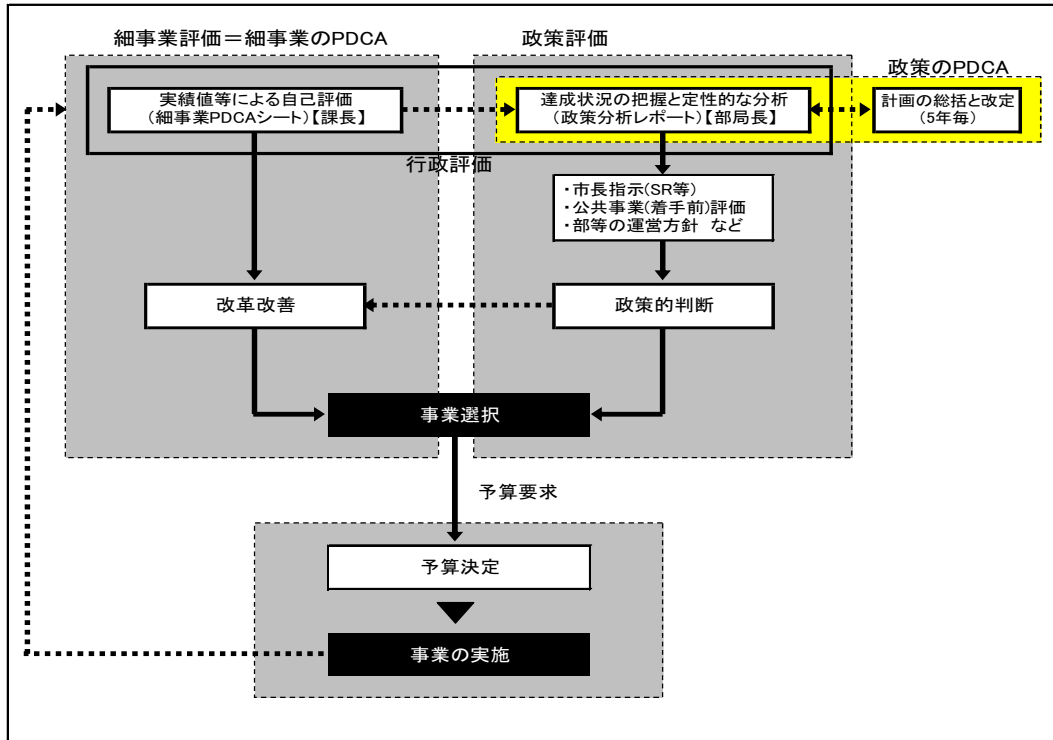
教育委員会の権限に属する事務の点検評価については、本市の行政評価を活用し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検評価の結果について、元豊橋市立中学校長の谷中緑氏、豊橋創造大学短期大学部教授で元豊橋市教育委員会委員の朝倉由美子氏に、選定した 4 件の取組みに対して点検評価を実施していただきました。

2 行政評価のしくみ

本市の行政評価は、「政策」と、政策を推進するために実施する「細事業」の 2 段階で行います。

細事業評価では、実績に基づき進捗の評価を行うことで改革改善を進める一方、政策評価では、定性的な分析と政策判断を重視した総合評価を行います。

評価結果は、政策推進に向けた効果的な事業の選択と、行政資源の効率的な配分を図るために有効活用するとともに、財政計画や実施計画、行財政改革プランとも連携を図りながら、総合計画の推進に役立てていきます。



細事業の PDCA：実績評価－改革改善－事業選択－事業実施
 政策の PDCA：政策分析－計画の総括－計画改定－政策推進

3 総括

令和2年度決算評価では、行政評価の対象となる細事業数は1,007となりました。その内訳は、6分野44政策に属する細事業数が894、その他の細事業数が113でした。

教育委員会が関連する分野は第2分野「健やかに暮らせるまちづくり」の一部及び第3分野「心豊かな人を育てるまちづくり」の一部です。

総合評価一覧

【分野別計画】（教育委員会関連分）

分野	政策	取組みの基本方針数	評価対象		総合評価			
			細事業数	事業費(千円)	R2	(参考) R1		
2	健やかに暮らせるまちづくり	4	子育て支援・児童福祉の充実	6	35	22,932,602	A	A
3	心豊かな人を育てるまちづくり	1	学校教育の推進	6	85	12,328,373	B	B
		2	生涯学習の推進	3	31	620,135	B	B
		5	芸術文化の振興	3	25	994,290	B	A
		6	科学教育の振興	2	8	153,150	B	B
		7	文化財の保護と歴史の継承	2	8	261,873	B	B
		8	市民協働の推進	2	10	336,969	B	B
		10	男女共同参画の推進	2	4	13,980	B	B

※) A:成果が上がっている B:概ね成果が上がっている C:あまり成果が上がっていない D:成果が上がっていない

※) 事業費は直接事業費のみを集計しており、職員人件費や公債費等は除いています。

評価（分野別）のまとめ

「2 健やかに暮らせるまちづくり」分野の「4 子育て支援・児童福祉の充実」は、令和元年度決算評価から引き続きA評価となっています。放課後児童クラブを利用ニーズに合わせて増設するとともに、夏休み限定の児童クラブを開設するなど放課後における適切な遊びや生活の場の充実を図りました。

「3 心豊かな人を育てるまちづくり」の分野では、令和元年度決算評価と比べ、A評価が減少しましたが、外国人児童生徒への対応として、3つ目となる初期支援コース「きぼう」を開設するとともに、これからの時代を見据えた教育環境の充実を図るため、八町小学校イマージョン教育コースの開設、小中学生への1人1台タブレット型端末の配備や高速ネットワーク環境を一体的に整備しました。また、放課後の新たな学びの場として、地域の人とふれあいながら様々な体験活動を行う「のびるん de スクール」を開始しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くの事業や活動が中止や延期、縮小を余儀なくされましたが、感染症対策の徹底やICTの積極的活用など工夫を凝らしながら各施策の推進に取り組みました。

4 政策分析レポート

政策分析レポート（分野別計画）とは

政策分析レポート（分野別計画）は、政策ごとに目標の達成度や細事業の進捗状況並びに昨今の社会経済情勢等による総合的な分析を行うことにより、政策の成果を評価し、今後の展開につなげるものです。

■【政策】及び【取組みの基本方針】

第5次豊橋市総合計画後期基本計画の分野別計画に掲載されている「政策」の名称及び「取組みの基本方針」を記載しています。

■【政策推進上の重要課題】

現状において当該政策を推進する上で重要な課題を記載しています。

■【取組みの目標】

第5次豊橋市総合計画後期基本計画の分野別計画に掲載されている目標と平成28年度から令和2年度までの実績値を記載しています。

■【主な取組みと決算データ】

「主な取組み」

当該政策を推進するための細事業のうち、主な取組みの内容と評価結果を記載しています。

「細事業評価結果一覧」

政策を構成する全ての細事業の「実績評価」結果と今後の「方向性」の集計結果を記載しています。

「決算データ」

行政評価の対象とした細事業の直接事業費を集計した結果を記載しており、職員人件費や公債費等は除いています（取組みの基本方針ごとに千円未満切り捨てとしています）。

■【政策の総合評価と今後の展開】

取組みの目標の達成状況や細事業評価結果に加え、取組みの実施状況等を踏まえ、政策の成果を次の4段階で総合的に評価するとともに、評価を踏まえ、今後重点的に進めていくことを記載しています。

A：成果が上がっている	B：概ね成果が上がっている
C：あまり成果が上がっていない	D：成果が上がっていない

【政策】 2-4	【取組みの基本方針】
子育て支援・ 児童福祉の充実	1. ライフステージに応じた支援の充実
	2. 子どもの権利の擁護
	3. 幼児期の教育・保育の充実
	4. 地域における子育て支援の充実
	5. 放課後児童対策の充実
	6. ひとり親家庭等の自立支援

政策推進上の重要課題

- ・地域社会が一体となって子育てをする仕組みづくり
- ・保育ニーズの高まり、多様化への対応
- ・小学生の放課後等の安全・安心で健やかな活動場所の確保
- ・児童虐待防止体制の充実 など

取組みの目標

【目標とする姿】子育て家庭を支援する仕組みが整っており、子育てをしやすいまちになっている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶認定こども園数を21園にします。 (H26年実績2園)	2園	9園	14園	18園	19園	22園
▶地域子育て支援拠点数を47か所にします。 (H26年実績43か所)	43か所	46か所	47か所	48か所	48か所	49か所
▶放課後児童クラブ設置数を83か所にします。 (H26年実績67か所)	67か所	83か所	85か所	87か所	93か所	97か所
▶子育て応援企業の認定事業所数を210事業所にします。 (H26年実績89事業所)	89事業所	190事業所	231事業所	277事業所	310事業所	337事業所

主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
切れ目のない子育て支援事業費	結婚から出産、育児へと続く切れ目のない支援のため、とよはし子育て応援宣言に基づいた取組みや子どもの貧困対策を推進	a	充実
子育てプラザ活動事業費	乳幼児（0～3歳）と保護者を対象に、子どもとのふれあいや仲間づくりの場を提供したほか、妊娠・出産・子育て総合相談窓口での多様な相談への対応やチャイルドサポートプラン説明会で情報提供を実施	b	充実
法人保育所・認定こども園整備費補助金	良好な教育・保育環境を確保するため、法人保育所等の大規模な整備や、幼稚園から認定こども園へ移行するための整備に必要な経費の一部を助成	a	維持
公営児童クラブ運営事業費	昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を提供	b	充実
児童相談支援事業費	児童や家庭に関する相談、特に児童虐待への対応や支援を行うため、要保護児童対策ネットワーク協議会の運営及び養育支援訪問事業、家庭児童相談を実施	b	充実

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
35	3	22	0	10	13	1	18	3

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. ライフステージに応じた支援の充実	7,950,300	8,247,201
2. 子どもの権利の擁護	26,394	30,259
3. 幼児期の教育・保育の充実	10,677,798	11,624,524
4. 地域における子育て支援の充実	324,057	356,538
5. 放課後児童対策の充実	727,637	839,432
6. ひとり親家庭等の自立支援	1,819,260	1,834,645

政策の総合評価と今後の展開

- ・妊娠から子育てに至る子育て支援の充実を図るため、妊娠・出産・子育て総合相談窓口で、育児への不安や発育に関する悩みなど、様々な相談に対応しました。
- ・保育コンシェルジュによるこども未来館での出張相談を新たに行うなど、保育園等に入園する前から入園に至るまでの保護者への継続的な支援を行いました。また、ミラまち子育て支援センターの開設やこども未来館と地域の子育て支援拠点の連携強化など、利用者ニーズに対応した子育て支援サービスを充実しました。
- ・子育て世代の多様な保育ニーズに対応するため、認定こども園へ移行する幼稚園への整備費助成などを行った結果、目標値を超える数の認定こども園を整備することができました。
- ・幼児教育・保育の無償化に加えて、多子世帯の0～2歳児の保育料や給食費（副食費）の減免を実施し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。
- ・こども若者総合相談支援センターで要支援家庭向けの子育て短期支援事業を新たに実施し、子育てに不安を抱える家庭の相談に対して、必要に応じて必要な支援を提供できる体制を整えました。
- ・新型コロナウイルス感染症対策経費の助成や感染症対策物品の購入等により、継続して保育や子育てサービスを提供できるよう感染状況に応じて必要な措置をとりました。
- ・今後は、地域社会が一体となって子育てをする機運の醸成を高めるとともに、少子化対策を推進します。また、児童クラブの待機児童の解消並びに放課後における学習の場としての機能の充実、きめ細かなひとり親家庭への支援、児童相談所設置等を含めた児童相談体制のあり方の検討を進めます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

A

【政策】 3-1	【取組みの基本方針】
<h1>学校教育の推進</h1>	1. 「この子の輝く学び」の創造
	2. 子どもの心と体の健康増進
	3. 特色ある学校づくりの推進
	4. 教職員の力量向上
	5. 教育環境の整備・充実
	6. 市立の強みを活かした教育の推進

■政策推進上の重要課題

- ・多様化する教育的ニーズや時代の変化に対応した柔軟かつきめ細やかな教育の推進
- ・経済的な支援など様々なステージにおける切れ目のない教育機会の保障
- ・学校・家庭・地域が連携した特色ある学校づくりの推進
- ・老朽化した学校施設の計画的な改修 など

■取組みの目標

【目標とする姿】 学校が核となる地域ぐるみの教育体制が構築され、生きる力を身につけた子どもが育っている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶学校評価における「確かな学力の保証」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を50%にします。（H26年参考値43.1%）	43.1%	28.3%	31.8%	30.4%	29.1%	40.5%
▶学校評価における「健やかな体の育成」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を65%にします。（H26年参考値58.3%）	58.3%	63.5%	67.6%	66.2%	64.9%	67.6%
▶学校評価における「家庭や地域との連携」の項目がAランクに評価された小中学校の割合を65%にします。（H26年参考値57.1%）	57.1%	41.9%	45.5%	47.3%	52.3%	31.5%

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
外国人児童生徒教育相談事業費	外国人児童生徒に対する教育相談員、外国人児童生徒教育相談コーディネーター及びスクールアシスタントの配置、登録ボランティアの派遣、初期支援コース「みらい東・西」「きぼう」における初期日本語集中指導の実施	b	維持
英会話のできる豊橋っ子育成事業費	英語を用いてコミュニケーションができる子どもを育成するため、英語指導助手を配置するとともに、八町小学校においてイマージョン教育コースを開設し、英語習得に特色をもった学習環境を構築	b	充実
共同調理場再整備事業費	令和4年度の供用開始に向け、PFI手法により新学校給食共同調理場（仮称）の建設工事を実施	-	維持
コンピュータ活用事業費	新たな学習スタイルとして、児童生徒に1人1台タブレット型端末を配備し、とよはし版GIGAスクールを推進するための学習環境を構築	b	充実
校内通信ネットワーク整備事業費	とよはし版GIGAスクールに対応するため、全小中学校の普通教室にアクセスポイントとタブレット充電保管庫を設置	a	完了・廃止

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
85	36	28	4	17	5	2	61	17

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 「この子の輝く学び」の創造	798,111	2,935,896
2. 子どもの心と体の健康増進	2,941,893	3,117,085
3. 特色ある学校づくりの推進	8,956	8,145
4. 教職員の力量向上	23,705	22,915
5. 教育環境の整備・充実	9,485,465	5,900,418
6. 市立の強みを活かした教育の推進	258,675	343,912

■政策の総合評価と今後の展開

- ・外国人児童生徒への対応として、3つ目となる初期支援コース「きぼう」を開設し、日本の学校に初めて編入する日本語がわからない児童の初期日本語集中指導等の充実を図りました。
- ・英語を用いた実践的な取組みにより市内小中学生のコミュニケーション能力を育成するとともに、八町小学校において、国語、道徳以外の教科等について英語を用いて学ぶイマージョン教育コースを開設しました。
- ・小中学生への1人1台タブレット型端末の配備や高速ネットワーク環境を一体的に整備することで、協働的な学習や個別最適化学習を行うとよはし版GIGAスクールを推進する体制を整えました。
- ・今後、児童生徒の「学びの保障」に努め、より良い教育環境を提供するとともに、地域と連携した特色ある学校づくりや「生きる力」を育む教育を推進します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】3-2

【取組みの基本方針】

生涯学習の推進

1. 生涯学習機会の充実
2. 地域における生涯学習活動への支援
3. 図書館の充実

政策推進上の重要課題

- ・多様化する市民の学習ニーズへの対応
- ・自ら学んだ成果を地域社会で発揮できる環境整備
- ・地区市民館など社会教育施設の計画的な整備
- ・図書館機能とサービスの拡充 など

取組みの目標

【目標とする姿】市民自ら学ぶ環境が整えられ、学びの輪が広がるような生涯学習活動が活発に行われている。

達成状況（各年度の最新値）

	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶地域の教育活動事業への参加者数を28,000人にします。 (H26年実績24,464人)	24,464人	26,392人	30,282人	26,085人	27,070人	19,810人
▶図書館の年間入館者数を1,100,000人にします。 (H26年実績638,866人)	638,866人	898,632人	901,418人	847,561人	875,293人	636,966人

主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
生涯学習市民大学事業費	多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、一般講座や大学連携講座など67講座を開催	b	維持
地域教育活動事業費	市民自ら学んだ成果を地域での様々な教育活動に還元できるよう、地域の大人が子どもに対し多様な体験講座などを開催	b	充実
家庭教育講座事業費	子育てへの関心を高めるため、家庭教育に関する学習支援として、家庭教育セミナーなどを開催	b	維持
地区市民館管理運営事業費	自主グループの活動や市民のコミュニティ活動の場を提供するため、地区市民館22館を運営	b	維持
郷土・司文庫等図書業務費	市民の「調べる・研究する」意欲を増進していくため、「とよはしアーカイブ」を充実	a	充実

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
31	2	26	0	3	3	0	28	0

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 生涯学習機会の充実	525,352	374,784
2. 地域における生涯学習活動の支援	17,675	28,929
3. 図書館の充実	197,211	216,422

政策の総合評価と今後の展開

- ・トラムなど各種講座を開催し、多様化する学習ニーズに対応するとともに、学んだ成果を地域での教育活動へ還元することができました。
- ・地区市民館の修繕や生涯学習環境の整備により、地区市民館の利用促進を図ることができました。
- ・令和元年度に開設した「とよはしアーカイブ」で公開できるよう、図書館所蔵の郷土資料だけでなく、美術博物館所蔵の資料をデジタル化し、公開資料の充実を図りました。
- ・今後、地域の人とふれあいながら様々な体験活動を行う「のびるんdeスクール」の実施内容を充実させ、実施校の拡大を目指します。また、図書館では情報発信機能の強化やサービスの拡充を図り、「知と交流の創造拠点」の実現を目指します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

<p>【政策】 3-5</p> <h2 style="text-align: center;">芸術文化の振興</h2>	<p>【取組みの基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 個性あふれる芸術文化の展開 芸術文化活動の推進 美術博物館の充実
--	--

■政策推進上の重要課題

- ・新たな豊橋文化の創造に向けた、芸術文化の呼び込みや発信
- ・青少年への優れた鑑賞機会の提供や個性的な創造活動の展開、芸術文化に関わる人材の育成
- ・価値観の多様化にあわせ、幅広く受け入れられる魅力的な展覧会や講座の開催
- ・文化施設や美術博物館の機能充実と利便性や環境の向上 など

■取組みの目標

【目標とする姿】 芸術文化に親しむ環境が整備され、多くの市民が心豊かな生活を送っている。

	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
・文化施設の利用者数を830,000人にします。 (H26年実績790,199人)	790,199人	939,082人	854,342人	847,808人	814,999人	314,831人
・芸術文化に関する普及・育成事業の参加者数を16,000人にします。 (H26年実績7,268人)	7,268人	18,813人	16,139人	13,178人	14,642人	17,686人
・美術博物館入館者数を230,000人にします。 (H26年実績184,405人)	184,405人	198,621人	173,717人	147,281人	182,883人	109,648人

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
豊橋文化振興財団補助金	市民参加型演劇公演「甘い丘」など様々な創造事業・鑑賞事業等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として動画配信による公演配信事業を開始	c	維持
文化がみえるまちづくり事業費	小中学生などを対象としたワークショップなどを実施する芸術文化体験普及事業を展開するとともに、気軽に文化に触れる機会を提供するため、豊橋駅にストリートピアノを設置	b	維持
穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した施設運営を実施するとともに、「新しい生活様式」に則り、動画配信用機材を購入し、回線を整備	c	維持
展覧会事業費	コロナ禍で中止した企画展の代替として、収蔵品を活用し「ゆったり、美術館散歩」、「トリエンナーレ豊橋受賞作品展」、「暮らし・アート」を開催したほか、「吉田城と三河吉田藩」、「手塚治虫展」など多様な企画展を開催	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
25	1	10	8	6	1	0	23	1

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 個性あふれる芸術文化の展開	171,436	162,197
2. 芸術文化活動の推進	744,191	745,274
3. 美術博物館の充実	129,634	86,818

■政策の総合評価と今後の展開

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設や美術博物館の利用者は減少していますが、感染症対策を徹底し、施設運営に努めることができました。
- ・穂の国とよはし芸術劇場では、新型コロナウイルス感染症対策として、動画配信するための環境を整備するとともに、公演配信事業を開始することができました。
- ・美術博物館では、新型コロナウイルス感染症対策として、企画展普及事業の一部（トークライブ）を従来の対面形式から動画配信形式へ変更して実施し、より多くの聴講者を得ることができました。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】3-6	【取組みの基本方針】
科学教育の振興	1. 科学教育環境の充実
	2. 自然科学を学ぶ機会の充実

■政策推進上の重要課題

- ・科学教育の多様なプログラムの提供及び重要性の啓発
- ・社会情勢を踏まえた施設の計画的な整備・改修
- ・魅力的な企画展等の実施
- ・小・中・高・大学、研究機関、企業、ボランティア団体等との連携 など

■取組みの目標

【目標とする姿】科学教育環境が充実され、多くの市民が興味・関心を持ち、自然科学への理解が深まっている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶自然史博物館・地下資源館・視聴覚教育センターの入館者数の合計を820,000人にします。（H26年実績632,847人）	632,847人	737,735人	737,670人	751,998人	742,353人	613,052人
▶教育普及活動（学習教室等）の参加者数を15,000人にします。（H26年実績14,196人）	14,196人	13,587人	15,015人	14,941人	16,188人	9,745人

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
施設管理事業費（自然史博物館管理事業費）	市民が安心して訪れることができるよう、新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、自然史博物館の計画的な整備改修及び収蔵環境の改善を実施	b	充実
教育普及活動事業費	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、大型映像の上映、魅力的な企画展、出前授業、講座などの教育普及活動を実施	b	充実
視聴覚教育センター事業費	わくわく体験活動に加え、親子実験教室を新たに開始したほか、出張プラネタリウムの実施や感染症対策として非接触型の展示会を開催	b	維持
地下資源館事業費	通常のワークショップ、実験ショーに加え、コロナ禍の中でも楽しめる科学実験動画の配信など新たな学ぶ機会を提供	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
8	0	6	0	2	2	0	6	0

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 科学教育環境の充実	83,698	89,541
2. 自然科学を学ぶ機会の充実	74,639	63,609

■政策の総合評価と今後の展開

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月14日から5月24日までの41日間にわたり施設を臨時休館しました。その後も、特別企画展等の中止や、大型映像及びプラネタリウムの定員制限のため、入館者数は前年度より減少し目標値の820,000人を下回りました。
- ・自然史博物館ではナイトZOOにおいて「くらやみ博物館探検！」の開催、視聴覚教育センター・地下資源館では非接触型展示や動画配信の実施によりコロナ禍の中でも自然科学を学ぶ機会を充実することができました。
- ・今後も感染症対策に配慮しながら、大型映像、プラネタリウムをはじめ、調査研究活動に基づく質の高い企画展、ワークショップ、実験ショーなどを通じて学ぶ機会を充実していくとともに、各施設の特色を生かした科学教育の拠点づくりを推進します。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

<p>【政策】 3-7</p> <p>文化財の保護と歴史の継承</p>	<p>【取組みの基本方針】</p> <p>1. 歴史資源の保存と活用</p> <p>2. 文化財保護活動の担い手の育成</p>
--	---

■政策推進上の重要課題

- ・将来にわたって残すべき有形・無形文化財等の調査・保存
- ・史跡や天然記念物を中心とした歴史・自然環境の保全
- ・歴史的景観・建造物の保全と公開・活用
- ・市民の文化財保護意識の醸成 など

■取組みの目標

【目標とする姿】多くの市民に文化財や歴史資源に対する保護意識が醸成され、活用が図られている。

	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶二川宿本陣資料館の入館者数を43,000人にします。 (H26年実績35,064人)	35,064人	45,208人	42,349人	35,741人	36,032人	14,000人
▶文化財関連学習プログラム等の参加者数を3,000人にします。 (H26年実績2,681人)	2,681人	3,232人	4,701人	5,260人	5,230人	2,901人

■主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
文化財調査事業費	市内所在の文化財の調査や指定及び埋蔵文化財の緊急発掘調査・確認調査、天然記念物の植生調査や回復作業、国史跡瓜郷遺跡の土地購入手続き、国史跡馬越長火塚古墳群の確認調査	b	充実
文化財保存事業補助金	国指定有形文化財「豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂」の修理、県指定天然記念物「お葉付公孫樹」の環境整備、市指定有形文化財「木造地藏菩薩立像」の修理	b	維持
文化財保存活用事業費	とよはし歴史探訪、埋蔵文化財活用事業による展覧会及び史跡ウォーキングの開催、文化財説明標示板の設置、講演会の開催	b	維持
展覧会事業費	豊橋の近代を、地図の変遷や絵葉書などに写された街並みの変化などからたどる「街の移ろい～地図と絵葉書にみる豊橋の明治・大正・昭和」などの企画展を開催	b	維持
施設管理事業費 (商家「駒屋」事業費)	商家「駒屋」の管理運営、本陣資料館との連携による各種イベントの開催	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない -：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
8	0	7	0	1	0	0	8	0

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 歴史資源の保存と活用	66,397	59,850
2. 文化財保護活動の担い手の育成	237,189	202,022

■政策の総合評価と今後の展開

- ・文化財の保存と活用を進めるとともに、文化財保護の担い手である市民の意識向上を図ることができました。
- ・二川宿本陣資料館や商家「駒屋」での展覧会やイベント開催により、二川宿の魅力を来訪者に伝えることができました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、二川宿本陣資料館入館者数や文化財関連学習プログラム等の参加者数が目標を下回りましたが、常設展解説映像のWEB公開や感染症対策を十分行ったうえでのイベントなどを実施し、文化財保護意識の醸成に取り組みました。
- ・今後も文化財の調査と保存を継続し、その活用、体験講座・展示などを通じた文化財保護活動の担い手育成を進めるとともに、二川宿本陣、旅籠屋「清明屋」、商家「駒屋」の一体的な活用とPR活動を展開します。また、国史跡瓜郷遺跡指定地の公有地化と国史跡馬越長火塚古墳群の保護を進め、文化財保存活用地域計画の策定に取り組みます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

【政策】 3-8	【取組みの基本方針】
市民協働の推進	1. 地域コミュニティ活動の促進
	2. 市民活動への支援

■ 政策推進上の重要課題

- ・ 協働に対する意識の醸成及び担い手の確保・育成
- ・ 地域コミュニティ団体と行政が協力し、地域住民が主体となったまちづくりの推進
- ・ 拠点施設の機能充実
- ・ 住みよい暮らしづくり計画推進への支援 など

■ 取組みの目標

【目標とする姿】 市民協働への理解が進み、様々な場面で市民の自主的なまちづくり活動が展開されている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶まちづくり活動へ参加したことがある市民の割合を60%にします。 (H26年実績43.0%)	43.0%	—	49.4%	—	45.6%	71.1%
▶市民活動プラザ登録団体数を460団体にします。 (H26年実績387団体)	387団体	429団体	440団体	451団体	459団体	457団体

■ 主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
自治連合会活動事業費	市からの様々な情報を地域に提供・周知するとともに、事務局として自治連合会活動を支援	a	維持
校区市民館管理運営事業費	地域コミュニティの拠点施設として指定管理者による管理・運営を行うとともに、施設・設備の老朽化に対応	b	充実
市民活動支援事業費	市民協働によるまちづくりを推進するため、令和3年度から令和7年度までの行動計画として、第3次市民協働推進計画を策定	a	維持
市民協働推進補助金	公益的社会貢献活動を行う団体に補助（スタート補助金、ネクスト補助金、若者支援補助金）を実施	b	充実
若者政策提案事業	市内の若者（15歳～25歳まで）19名がワークショップなどを通して政策を市長に提案（令和2年度は6事業）	—	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止
10	3	5	0	2	2	0	8	0

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 地域コミュニティ活動の促進	270,533	283,468
2. 市民活動への支援	40,174	53,501

■ 政策の総合評価と今後の展開

- ・ 紙媒体の自治連合会だよりを廃止して電子媒体のFacebookに移行するためのサポートを行い、タイムリーな情報発信と自治会役員の負担軽減に取り組みました。
- ・ 地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設である校区市民館の環境整備（省エネ対策としての照明器具のLED化や新型コロナウイルス感染症拡大防止策としての換気扇修繕のほか、トイレの洋式化工事など）を進めることができました。
- ・ 若者の意見を市政に反映させるため、「豊橋わかば議会」を開催し、若者からの提案を事業化へつなげることができました。
- ・ 校区市民館、市民センターともにコロナ禍の影響で利用者数は減少したが、換気の徹底や消毒液の設置など新型コロナウイルス感染症対策をとり、施設を安全に使えるように努めました。
- ・ まちづくり活動に参加したことがある市民の割合は、前回調査より大幅に増加しました。
- ・ 今後は令和2年度に策定した第3次市民協働推進計画で定めた5つの施策（意識醸成と人材育成、市民が参加しやすい環境づくり、協働事業の促進、市民活動への支援、地域コミュニティ活動の促進）についての取り組みを進めます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

<p>【政策】 3-10</p> <h2 style="text-align: center;">男女共同参画の推進</h2>	<p>【取組みの基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女がともに活躍できる機会の充実 2. 女性の自立支援
---	---

■ 政策推進上の重要課題

- ・女性の就労支援、自立支援の推進
- ・性別による固定的役割分担意識の解消及びワーク・ライフ・バランスの推進
- ・地域における男女共同参画の推進
- ・男女の人権を尊重する意識の高揚 など

■ 取組みの目標

【目標とする姿】性別にとらわれず個性や能力を自由に発揮でき、男女がともにいきいきと活躍できるまちとなっている。	達成状況（各年度の最新値）					
	基準値	H28	H29	H30	R1	R2
▶30歳代の女性の雇用率を70%以上にします。 (H26年実績62.1%)	62.1%	77.4%	—	—	77.2%	—
▶各種委員会、審議会等への女性委員の参画比率を35%以上にします。 (H26年実績29.7%)	29.7%	29.7%	29.6%	30.6%	30.2%	29.5%

■ 主な取組みと決算データ

主な取組み（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

細事業名	取組み内容	実績評価	方向性
男女共同参画啓発事業費	豊橋市男女共同参画行動計画「ハーモニープラン2018-2022」の推進、LGBT面接相談・女性再就職支援事業の実施	a	充実
女性キャリアアップ応援補助金	国家資格を取得するための講座等の受講料、教育施設への入学料・授業料、資格試験の受験料等に対し、補助金を交付	-	充実
女性相談事業費	悩みを抱える女性に対し、女性相談員によるDV相談窓口をはじめ各種相談業務を実施	b	維持
男女共同参画センター管理運営事業費	男女共同参画の推進に取り組む団体活動の支援や、意識と資質の向上を目指した各種市民講座の開催、図書資料等の収集・提供や掲示物による情報発信の実施	b	維持

細事業評価結果一覧（実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない —：評価しない）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性			
	a	b	c	-	充実	縮小	維持	完了・廃止
4	1	2	0	1	2	0	2	0

決算データ

取組みの基本方針	R1年度決算（千円）	R2年度決算（千円）
1. 男女がともに活躍できる機会の充実	3,929	2,472
2. 女性の自立支援	8,792	11,507

■ 政策の総合評価と今後の展開

- ・女性の再就職、キャリアアップを支援するための国家資格取得に対する補助金の交付や相談・セミナーの開催、豊橋で働く女性等を対象として女性応援プロジェクトを実施することで、女性活躍の意識の高揚を図ることができました。
- ・女性相談やDV相談の周知を図りながら、相談を実施し、悩みを持つ女性を支援することができました。
- ・愛知県内初となるLGBT面接相談を実施し、当事者への支援に取り組みました。また、性の多様性に関する啓発パンフレットを作成し、LGBTの理解促進に努めました。
- ・各種委員会、審議会等への女性委員の参画比率が下がっていることから、各方面へ女性委員の登用について強く促していく必要があります。
- ・今後、再就職や正規職員へのステップアップを目指す女性を一層支援し、女性の就業率向上を図ります。また、LGBT等性的少数者を対象としたパートナーシップ制度を創設し、支援策を拡充するなど、様々な困難を抱える人々への支援を拡充します。
- ・令和2年度に策定された国・県の男女共同参画計画及び令和3年度に実施する市民意識調査を踏まえ、新たな男女共同参画行動計画を策定し推進していきます。

目標の到達度、事業の進捗率、社会経済状況等から総合的に判断しA～Dの4段階で評価
 (A：成果が上がっている B：概ね成果が上がっている C：あまり成果が上がっていない D：成果が上がっていない)

B

○細事業評価結果一覧

細事業の評価について

政策を実現する手段である細事業の進行管理と改革改善を行うため、細事業ごとに実績を測る指標を設定し、それを継続的に把握するとともに直接事業費の増減により、進捗を評価しています。

行政評価の対象となる細事業数は1,007で、そのうち政策（分野別計画）に属する細事業数は894でした。

細事業については、令和2年度に実施した事業の内容により下表の4類型に分類し、そのうち類型1～3を評価の対象としています。なお、事業費については直接事業費のみを評価することとしています。

類 型		備 考
1	ソフト事業	
2	ハード事業	工事のための補助金、一部の維持管理事業、修繕等を含む
3	その他事業	評価や改善がなじまない義務的な細事業で個別に決定
4	対象外事業	職員人件費や公債費など

■実績評価

進捗状況について、下記のとおり「a」～「c」で評価を行います。

・類型1（ソフト事業）

下表の評価基準を基本とし、細事業を取り巻く情勢や費用対効果等を勘案した上で評価を行っています。ただし、令和2年度の新規ソフト事業等については、前年度との比較ができないため、実績評価は「－」として記載しています。

実績値	決算額		
	増加	横ばい	減少
向上	b	a	a
横ばい	c	b	a
悪化	c	c	b

a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる c：あまり順調に進んでいない

・類型2（ハード事業）

下表の評価基準により評価を行っています。

判断基準		
a（順調に進んでいる）	b（概ね順調に進んでいる）	c（あまり順調に進んでいない）
予定どおり事業が進捗した。	概ね予定どおり事業が進捗した。	予定どおり事業が進捗しなかった。

・類型3（その他事業）

評価や改善がなじまない義務的な事業のため、実績評価は「－」として記載しています。

■方向性

方向性	判断基準
充実	予算の増減に関わらず事業内容や規模を充実して実施するもの
縮小	事業内容や規模を縮小し実施するもの
維持	現状と同等の事業内容や規模で実施するもの
完了・廃止	事業を完了あるいは廃止するもの

2 健やかに暮らせるまちづくり

2-4 子育て支援・児童福祉の充実

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
ライフステージに応じた 支援の充実	2040101	切れ目のない子育て支援事業費	a	充実
	2040102	児童手当給付事業費	-	維持
	2040103	子ども医療費助成事業費	b	維持
	2040104	新生児臨時特別給付金給付事業	-	完了・廃止
	2040105	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	-	完了・廃止
子どもの権利の擁護	2040201	児童相談支援事業費	b	充実
幼児期の教育・保育の充実	2040301	管理運営事業費（公立保育所等管理運営事業費）	b	充実
	2040302	子ども・子育て給付事業費	b	充実
	2040303	法人保育所・認定こども園通常保育事業費	b	充実
	2040304	法人保育所・認定こども園整備費補助金	a	維持
	2040305	私立幼稚園運営費補助金	b	維持
	2040306	利用者支援事業費	b	充実
	2040307	子育て環境総合支援事業費	b	充実
地域における子育て支援 の充実	2040401	管理運営事業費（交通児童館管理運営事業費）	b	維持
	2040402	施設管理事業費	b	充実
	2040403	子育てプラザ活動事業費	b	充実
	2040404	体験・発見プラザ活動事業費	b	維持
	2040405	企画活動事業費	b	維持
	2040406	ミラまちこども館施設管理費	-	維持
	2040407	児童遊園維持管理事業費	a	維持
	2040408	地域子育て支援センター事業費	-	維持
	2040409	児童育成事業費	b	維持
	2040410	三人乗り自転車貸出事業費	b	充実
	2040411	法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	b	充実
放課後児童対策の充実	2040501	公営児童クラブ運営事業費	b	充実
	2040502	民営児童クラブ運営事業費	b	充実
	2040503	放課後子ども教室運営事業費	b	縮小
ひとり親家庭等の自立支援	2040601	ひとり親家庭等自立支援事業費	b	維持
	2040602	児童扶養手当給付事業費	-	維持
	2040603	母子父子福祉手当給付事業費	-	維持
	2040604	母子生活支援施設入所事業費	b	維持
	2040605	助産施設入所事業費	b	維持
	2040606	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費	-	完了・廃止
	2040607	母子父子家庭等医療費助成事業費	-	維持
	2040608	母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	-	維持

3 心豊かな人を育てるまちづくり

3-1 学校教育の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
「この子の輝く学び」の創造	3010101	外国人児童生徒教育相談事業費	b	維持
	3010102	教育相談活動事業費	a	充実
	3010103	不登校対策支援事業費	c	維持
	3010104	生徒指導対策事業費	c	維持
	3010105	いじめ問題対策事業費	c	維持
	3010106	行事開催事業費	b	縮小
	3010107	教育活動支援事業費	b	維持
	3010108	授業・学習支援センター推進事業費	c	維持
	3010109	学校図書館活動推進事業費	b	充実
	3010110	小・中学校読書活動推進事業費	a	維持
	3010111	特別支援教育推進事業費	b	維持
	3010112	教育振興事業費	b	維持
	3010113	学力向上支援事業費	b	維持
	3010114	小中一貫教育推進事業費	b	充実
	3010115	体力向上支援事業	-	維持
	3010116	教育交流推進事業費	-	維持
	3010117	英会話のできる豊橋っ子育成事業費	b	充実
	3010118	ワクワク・ワーク・イン・とよはし推進事業費	b	維持
	3010119	コンピュータ活用事業費	b	充実
	3010120	プログラミング教育推進事業費	-	完了・廃止
	3010121	安全教育推進事業費	b	維持
子どもの心と体の健康増進	3010201	学校健康診断事業費	b	維持
	3010202	学校保健会補助金	a	縮小
	3010203	学校事故災害給付金等請求事業費	a	維持
	3010204	学校結核予防事業費	a	維持
	3010205	学校環境衛生管理事業費	a	維持
	3010206	学校給食管理事業費	a	維持
	3010207	市立高等学校給食運営事業費	b	維持
	3010208	学校給食就学援助事業費	b	維持
	3010209	共同調理場運営事業費	b	維持
	3010210	学校給食施設管理事業費	b	維持
	3010211	豊橋市学校給食協会補助金	a	維持
	3010212	学校給食物資調達事業費	b	維持
	3010213	共同調理場再整備事業費	-	維持
特色ある学校づくりの推進	3010301	学校づくり推進事業費	a	維持
	3010302	学校運営支援事業費	b	維持
教職員の力量向上	3010401	指定校研究費補助金	b	維持
	3010402	現職研修委員会補助金	b	維持
	3010403	指定校研究受託事業費	-	維持
	3010404	施設管理等運営事業費	b	維持
	3010405	教職員研修事業費	b	維持
	3010406	教員免許状更新講習事業費	b	維持

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
教育環境の整備・充実	3010501	私学運営費補助金	b	維持
	3010502	私立高等学校授業料補助金	a	維持
	3010503	私立専修学校等授業料補助金	a	維持
	3010504	私立高等学校等学納金特別補助金	-	完了・廃止
	3010505	小・中学生就学事務事業費	-	維持
	3010506	就学援助事業費	b	維持
	3010507	小・中学生在宅学習支援特別給付金	-	完了・廃止
	3010508	学術全国大会補助金	b	維持
	3010509	奨学金給付事業費	b	維持
	3010510	校内通信ネットワーク整備事業費	a	完了・廃止
	3010511	校内通信ネットワーク整備事業費	a	完了・廃止
	3010512	家政高等専修学校整備事業費	a	完了・廃止
	3010513	管理事業費（小学校管理事業費）	-	維持
	3010514	教育活動事業費（小学校教育推進事業費）	-	維持
	3010515	小学校情報管理システム管理運営事業費	-	維持
	3010516	八町小学校校舎増築等事業費	a	維持
	3010517	玉川小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010518	谷川小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010519	細谷小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010520	豊南小学校校舎改良事業費	a	完了・廃止
	3010521	吉田方小学校屋内運動場改良事業費	a	完了・廃止
	3010522	飯村小学校校舎改造事業費	a	完了・廃止
	3010523	二川南小学校校舎改造事業費	a	完了・廃止
	3010524	松葉小学校屋内運動場改造事業費	a	完了・廃止
	3010525	校舎等改修事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010526	一般補修事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010527	運動場等整備事業費（小学校環境整備事業費）	a	維持
	3010528	校内通信ネットワーク整備事業費	a	完了・廃止
	3010529	管理事業費（中学校管理事業費）	-	維持
	3010530	教育活動事業費（中学校教育推進事業費）	-	維持
	3010531	中学校情報管理システム管理運営事業費	-	維持
	3010532	本郷中学校校舎改造事業費	a	維持
	3010533	南陽中学校校舎改造事業費	a	完了・廃止
	3010534	校舎等改修事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
	3010535	一般補修事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
	3010536	運動場等整備事業費（中学校環境整備事業費）	a	維持
	3010537	校内通信ネットワーク整備事業費	a	完了・廃止
市立の強みを活かした教育の推進	3010601	管理事業費（くすのき特別支援学校教育推進事業費）	-	維持
	3010602	教育活動事業費（くすのき特別支援学校教育推進事業費）	a	維持
	3010603	管理事業費（市立高等学校教育推進事業費）	-	維持
	3010604	教育活動事業費（市立高等学校教育推進事業費）	a	維持
	3010605	管理事業費（家政高等専修学校教育推進事業費）	-	維持
	3010606	教育活動事業費（家政高等専修学校教育推進事業費）	a	維持

3-2 生涯学習の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
生涯学習機会の充実	3020101	生涯学習市民大学事業費	b	維持
	3020102	生涯学習活動事業費	b	維持
	3020103	地区市民館管理運営事業費	b	維持
	3020104	地区市民館整備事業費	a	維持
	3020105	青少年センター管理運営事業費	b	維持
	3020106	少年自然の家管理運営事業費	b	維持
	3020107	野外教育センター管理運営事業費	b	維持
	3020108	神田ふれあいセンター管理運営事業費	b	維持
	3020109	江比間野外活動センター管理負担金	b	維持
地域における生涯学習活動への支援	3020201	地域教育活動事業費	b	充実
	3020202	成人式開催事業費	b	維持
	3020203	家庭教育講座事業費	b	維持
	3020204	青少年交流活動促進事業費	b	維持
	3020205	P T A 連絡協議会補助金	b	維持
	3020206	豊橋市民愛市憲章推進協議会補助金	b	維持
	3020207	校区社会教育委員会事業費補助金	b	維持
	3020208	青少年団体活動補助金	b	維持
図書館の充実	3020301	施設管理費（中央図書館事業費）	b	充実
	3020302	児童図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020303	一般図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020304	レファレンス業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020305	郷土・司文庫等図書業務費（中央図書館事業費）	a	充実
	3020306	AV・CD 電子図書業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020307	行事開催業務費（中央図書館事業費）	b	維持
	3020308	カウンター窓口業務費（中央図書館事業費）	-	維持
	3020309	配本業務費（向山図書館事業費）	b	維持
	3020310	カウンター窓口業務費（向山図書館事業費）	-	維持
	3020311	施設管理費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020312	図書業務費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020313	行事開催業務費（大清水図書館事業費）	b	維持
	3020314	カウンター窓口業務費（大清水図書館事業費）	-	維持

3-5 芸術文化の振興

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
個性あふれる芸術文化の展開	3050101	豊橋文化振興財団補助金	c	維持
	3050102	豊橋青少年オーケストラキャンプ事業補助金	-	維持
	3050103	文化がみえるまちづくり事業費	b	維持
	3050104	アートによる魅力発信事業費	c	維持
芸術文化活動の推進	3050201	文芸文化事業費	b	維持
	3050202	文化振興表彰事業費	a	維持
	3050203	文化振興指針検討事業費	-	完了・廃止
	3050204	豊橋交響楽団補助金	c	維持
	3050205	豊橋素人歌舞伎保存会補助金	-	維持
	3050206	吉田文楽保存会補助金	-	維持
	3050207	郷土関係出版物補助金	b	維持
	3050208	全国風揚げ大会開催事業補助金	-	維持
	3050209	三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会負担金	-	維持
	3050210	市民文化会館管理事業費	b	充実
	3050211	西川芸能練習場管理事業費	c	維持
	3050212	三の丸会館管理事業費	c	維持
	3050213	ライフポートとよはし管理事業費	c	維持
	3050214	公会堂管理事業費	b	維持
	3050215	穂の国とよはし芸術劇場管理事業費	c	維持
	3050216	アイブラザ豊橋管理事業費	c	維持
美術博物館の充実	3050301	施設管理事業費	b	維持
	3050302	展覧会事業費	b	維持
	3050303	資料収集事業費	b	維持
	3050304	民俗資料収蔵室運営事業費	b	維持
	3050305	市史編さん事業費	b	維持

3-6 科学教育の振興

取組みの基本方針	細事業名		実績評価	方向性
科学教育環境の充実	3060101	施設管理事業費（自然史博物館施設管理事業費）	b	充実
	3060102	石巻自然科学資料館運営事業費	b	維持
	3060103	視聴覚教育センター施設管理事業費	-	維持
	3060104	地下資源館施設管理事業費	-	維持
自然科学を学ぶ機会の充実	3060201	教育普及活動事業費	b	充実
	3060202	資料収集・調査研究活動事業費	b	維持
	3060203	視聴覚教育センター事業費	b	維持
	3060204	地下資源館事業費	b	維持

3-7 文化財の保護と歴史の継承

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
歴史資源の保存と活用	3070101	施設管理事業費（二川宿本陣資料館事業費）	b	維持
	3070102	展覧会事業費	b	維持
	3070103	資料収集事業費	b	維持
	3070104	二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金	-	維持
	3070105	施設管理事業費（商家「駒屋」事業費）	b	維持
文化財保護活動の担い手の育成	3070201	文化財調査事業費	b	維持
	3070202	文化財保存事業補助金	b	維持
	3070203	文化財保存活用事業費	b	維持

3-8 市民協働の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
地域コミュニティ活動の促進	3080101	自治連合会活動事業費	a	維持
	3080102	地域コミュニティ支援事業費	b	維持
	3080103	コミュニティ推進事業補助金	b	維持
	3080104	校区市民館管理運営事業費	b	充実
	3080105	地域集会所建設費補助金	a	維持
市民活動への支援	3080201	市民活動支援事業費	a	維持
	3080202	市民協働推進補助金	b	充実
	3080203	若者政策提案事業	-	維持
	3080204	市民センター管理運営事業費	b	維持
	3080205	市民協働推進基金積立金	-	維持

3-10 男女共同参画の推進

取組みの基本方針	細 事 業 名		実績評価	方向性
男女がともに活躍できる機会の充実	3100101	男女共同参画啓発事業費	a	充実
	3100102	女性キャリアアップ応援補助金	-	充実
女性の自立支援	3100201	女性相談事業費	b	維持
	3100202	男女共同参画センター管理運営事業費	b	維持

5 外部評価結果

元豊橋市立中学校長の谷中緑氏、豊橋創造大学短期大学部教授で元豊橋市教育委員会委員の朝倉由美子氏に、選定した4件の取組みに対してご意見やご助言をいただきました。

とよはし版 GIGA スクール

教育委員会や学校がスピード感をもって児童生徒へのタブレット端末一人1台の配備とその活用に向けて準備をし、先行実施によって表出された課題や要望への対応にまい進してきたことに敬意を表します。この「とよはし版 GIGA スクール」の推進が、豊橋の子どもたちの関わりを大切にしつつ、興味関心や実態に合った主体的な学びにつながっていくことを心より期待します。

さて、「とよはし版 GIGA スクール」の柱である3つの学習（Web 協働学習・個別最適化学習・オンラインリアルタイム学習）に、子どもたちがスムーズかつ効率的に取り組むためには、“誰一人取り残さずすべての子ども”がタブレット端末をツールとして使えることが重要です。まずは学校での指導により、子どもに「自分でタブレットを起動させ、必要なアプリを選択して学習」できる技能をもたせることが最優先だと思います。これまでの先生方の指導や、ICT 社会の現代において難なくクリアしている児童生徒も多いと思いますが、クリアできていない児童生徒一人一人を救っていくことこそが重要です。

先行実施した嵩山小学校や羽田中学校のタブレット端末を家に持ち帰って「電子ドリル」や「テレビ会議」をする取り組みにおいて、「Teams によるテレビ会議」は、特に低学年では保護者の協力が必要だと思います。今後も家庭に丁寧な説明をし、学校と教育委員会の連携による支援の下、家庭の協力を得て、未来を生きる子どもたちに必要なコミュニケーションツールの一つとして活用できるようになることを期待します。

また、GIGA スクールの推進において重要なことは、基本操作の習得だけでなく、豊橋の子どもたちに連綿と行ってきた問題解決的な学習や新学習指導要領で求められている、主体的・対話的で深い学びの実現のための「Web 協働学習」と「個別最適化学習」でのタブレット端末の活用です。取り組みやすい教科等の特性はありますが、1日1回以上は授業で活用するという目標を達成していただきたいです。研究委嘱された羽根井小学校の実践、教科等研究部の研究授業、また、ICT 教育に強い教員による日々の活用実践などを気軽に共有できることが、実践教員の裾野を広げることにつながるのではないのでしょうか。そのために、実践等の情報を共有できるシステムを構築できるとよいと思います。

時代が求める子どもたちを育てるために、豊橋の教職員集団が、ともに学び合う豊橋の子どもたちのお手本として「とよはし版 GIGA スクール」の推進を通して高め合っていかなることを期待します。

小中一貫教育の推進

22 中学校区それぞれの地域に様々な特色や風土のある本市において、全小中学校で小中一貫教育の実施へと舵を切り、順次推進していく取り組みは、義務教育 9 年間の連続した学びとして捉えたり、児童生徒・学校・地域の実情を踏まえた取り組みの質を高めたりすることへの手段として、大いに評価できます。

また、以下の 2 点を小中一貫教育の柱に据えた方針は、たいへん重要であり、小中の施設が離れていても、達成が可能なことだと思います。

- (1) ねらいを明確にし、「目ざす子ども像」の設定と共有化を図る
- (2) 小中 9 年間を見通した教育課程を編成し、系統的な教育を目ざす

(1) に関しては、小中 9 年間をくぐりぬけた 15 歳の春に巣立つ「目ざす子ども像」の決定について、地域住民・保護者・教職員で合意形成を図ることが大切だと思います。これは、豊橋で取り組んできた「地域の子を地域で育てる地域ぐるみの教育」や「次代の地域を担う人材の育成」の視点からも合致します。子どもの実態や地域の魅力・特色を起点に、持続可能な地域社会の実現と子どもたちに必要な力の育成を見据えて「目ざす子ども像」を定めることが、今まさに求められている地域と学校との連携協働だと考えます。そして、地域住民・保護者・小中学校教職員が、これを共有し、手を取り合って子どもを育てることが肝要だと考えます。(2) の 9 年間を見通した教育課程の編成は、同じ中学校に進学する複数の小学校の児童にとって、中学校へのスムーズな橋渡しにつながるとともに、子どもの学びに効果のあることだと思います。

また、前芝学校の小中一貫教育での成果のように、小中合同の生活サポート委員会や生徒指導情報交換会は、予防的生徒指導ときめ細かな生徒指導につながります。小中合同現職研修や授業研究会等は教職員の相互理解を深め、協力意識の向上と授業改善につながるという強みがあります。さらに、コミュニティ・スクールを導入したり、これまでも行われてきた「地域のひと・もの・こと」を生かした教育活動を小中一貫教育の視点から再構築したりすることは、地域の宝である子どもと地域住民とのつながりをより深めるのに役立つと思います。立ち上げでの多忙感・負担感もあると思いますが、地域とともにある学校づくりと子どもの学びの質の向上のために、小中一貫教育の強みを生かすという意識が重要だと考えます。すべての中学校区での持続可能な小中一貫教育の早い実現を望みます。

のびるん de スクール

「のびるん de スクール」は、令和2年度に学校施設を活用した放課後の多目的体験活動の場として開設され、2校区をモデル校としてスタートしました。主目的は「地域の人たちとふれあい、さまざまな体験活動を行う」としています。

かつては、子どもが集まり外遊びすることが体力の向上やコミュニケーションの育成の場にもなっていました。また、おじいさん、おばあさんと過ごすことで、ゆったりとした時間の中で新たな学びも増えていました。しかし、防犯安全上の不安やゲーム、通信機器の多様化、保護者の共働きの増加、少子化、核家族化など、時代の変化の中で、子どもの放課後の過ごし方も変化しました。屋内で過ごすことが増え、個々にテレビやゲーム等に向き合う時間が多くなったことで、体を動かす機会や会話をする機会が減り、地域や家庭で心身が健やかに育まれることが難しい状況になっていることを感じます。そこで、この課題を充足すると同時に、運動や文化・芸術などの分野で活躍した経験者を講師に招いて指導を受けるといった本物の体験を通じた人間関係の育成も期待して、この事業を開設するに至ったと思います。

令和2年度の2校区での実施結果からは、児童が地域の大人とふれあう機会が増えたり、放課後の時間を活用して宿題の支援や遊びの時間があったり、運動や文化・芸術等の技術的な指導を受けられたりするなど、子どもは充実した楽しい時間を過ごしているという効果が見られます。また、保護者からのアンケートにはスタッフや内容への高評価が多くみられました。ただ、子どもどうしのトラブルへの対応や発達段階に応じた活動内容、運動の機会を増やすこと等の要望もあるようです。運営面では指導員等のスタッフ内での細かな打ち合わせの必要性も感じます。

「のびるん de スクール」は、手続きの規約に「お子様の預かり事業ではない」と書かれていますが、実態としては、保護者が仕事で不在の中、子どもだけで留守番するより、さまざまな経験をしながら安全に過ごせる方が望ましいという思いから利用を希望する家庭も多いのではないのでしょうか。児童クラブと併用するケースも含めて利用に関する説明や周知をしっかりと進めていただきたいと思います。

令和3年度には12校区に増えて、今後、実施校区の拡大を図っていくとのことですが、実施校区の増加に伴い、スタッフや指導者の確保、スケジュールはもちろんのこと、各校区の特性を理解しながら想定される課題について方策を練って進めていただきたいと思います。

第2次豊橋市教育振興基本計画

「第2次豊橋市教育振興基本計画」の策定趣旨は、人生100年時代の到来や、超スマート社会に向けての技術革新などで社会構造が大きく変化するとの予想のもと、豊橋市教育振興基本計画の改訂版（H28～R2）の検証結果を踏まえて、より効果的、効率的な教育行政を進めるように政策の体系が見直されています。

今後もさらに必要性が増すであろう地域連携の推進については、第2次計画でも継続して取り組もうとしており、就学前の子育て支援をはじめ、青少年、外国人児童生徒、障がいを持つ児童生徒たちへの教育や支援などにも、地域連携の視点が広く組み込まれていることは評価できますし、今後の効果検証にも期待したいと思います。

将来を担う子どもたちを育てるためには、家庭と学校と地域の連携が重要であるという考えのもと、学校が地域と一体となって進めるコミュニティ・スクールの導入の計画も示されていますが、実施はこれからとなっています。試験的な実施からでもよいと思うので、できるかぎり早期に導入し、成果課題を整理しながら全校区に拡大していただきたいと思えます。

生涯学習の推進という面からは、現役を退いたシルバー年代層が自らの学びなおしをするための取り組みが計画に含まれており、学び続けるための支援や環境づくりを意識されている点がよいと感じました。さらに、シルバー年代の方々に「のびるん de スクール」や「トヨッキースクール」のような地域と連携した教育活動にも積極的に参画していただけるようになると、双方により効果が生まれ、理想の姿に近づくのではないのでしょうか。

また、環境問題、貧困や格差など、現代社会にはさまざまな問題が山積しています。未来に目を向け、持続可能な社会を実現する担い手を育成するために、SDGsの視点を取り入れた教育活動の推進についても期待したいと思います。

この基本計画は5年ごとの見直しをしながら進められていきますが、今後5年の間にも、新型コロナウイルス感染症のような予想できない状況が起こり得る可能性はあるため、そういった未曾有の状況下でも、特に将来を担う子どもたちの健やかな学びの確保を最優先に、学校現場だけでなく、家庭、地域が一体となるとともに、地元企業などの民間活力もうまく活用しながら、柔軟に対応できる体制を構築し、計画に記載されているさまざまな取り組みを推進していただきたいと思えます。

